

**救急受入病床確保推進事業に関する県民への周知方策について**

**質問** 県が指定する後方支援医療機関はどういった基準の病院が対象になるのか、何床の増床をめざすのか、この事業の県民への周知について伺いたい。

**答弁** 後方支援医療機関に明確な位置付けはなかったが、この事業により、医療機関の意向を踏まえつつ後方支援医療機関として位置付け、役割分担を図っていききたい。この事業は2,000件程度を想定しており、後方機関については100程度の医療機関とし、中核医療機関は20機関程度を想定している。県民への周知については、対象となる医療機関を集め、説明会や意見交換を行い、現場の意見を聞きながら進めていきたい。

**転院時の医療機関間における連携体制の構築について**

**質問** 転院するにあたり、患者さんのデータを後方支援病院に送らなければ治療や看護ができない。その連携やICT化は進んでいるのか伺いたい。

**答弁** 今は救急医療情報システムを運用しているが、転院搬送先を探すための機能も組み込んでおり、一斉照会もできる形でツールを作っている。これを活用し、転院搬送を促進していく。

**医師の偏在及び診療科偏在の是正に向けた方策について**

**質問** 近年県北地域の医療体制が、非常に厳しい状況になっている。県北地域や鹿行地域などは、人が集まりづらい状況下で医師を含めた医療偏在がある。臨床研修医も

含めて、多くの医師に医療資源が乏しい地域に来ていただきたいが、県の考えを伺いたい。

**答弁** 長期的な視点では、令和2年度の医学部入学者から水戸保健医療圏を医師不足地域に該当した。また、今年度の医学部入学者から、医師不足地域での最大4年半の勤務の履行を臨床研修後に限るとした。短期的には、医師配置調整スキームを実施している。県と大学、県内医療機関と一体となり、救急などの政策医療を担う中核的な医療機関の医師確保に配置スキームに基づいて取り組んでいる。これらも活用しながら、医師不足地域の医師をより多く確保して、地域偏在の是正の方に取り組んでいきたい。

**県北地域における訪問介護の現状と課題及び県の支援について**

**質問** 県北地域は地形的に山間部も多く、長い距離を車で走って訪問する事例が多々ある。イラン情勢もあり、ガソリンなどの燃料代が経営を圧迫している。訪問介護を行っている事業所をどのように支えていくのか伺いたい。

**答弁** 今年度9月補正予算で訪問介護事業所に特化した支援事業を実施し、今年度12月の補正予算では、国の医療介護等支援パッケージとして、月額1万円の賃上げを目標とした、訪問事務、訪問介護事業者も含めた処遇改善の支援を実施している。燃料費の高騰については、訪問回数に応じた支援が国の支援メニューの中に入っており、現在申請を受け付けている。来年度には介護報酬の臨時改定、再来年には定期的介護報酬の改定もあり、改定の影響を見ながら必要な支援を県としても検討していく。

令和8年度当初予算案における主な事業(抜粋)

**プレ妊活健診事業** 新規

将来子どもを望む夫婦が、早期に妊娠・出産の希望がかなうよう、妊娠に向けた健康状態を確認できるプレ妊活健診を実施します。

**対象** 県内に住所を有し、妊娠を希望する夫婦  
※婚姻後2年以内かつ妻の年齢が40歳未満  
**内容** プレ妊活健診の受診を希望する夫婦に対し、受診券を配布(医療機関の指定あり)

【プレ妊活健診の例】

項目	内容
医師による相談・指導	妊娠に向けた健康や栄養、ライフプラン等に関するアドバイス
女性向け検査	子宮・卵巣の状態、卵巣年齢、性感染症、甲状腺機能等の検査など
男性向け検査	精液検査など
その他	動画等により性や健康に関する正しい知識についての啓発など

**新県立病院整備関連事業** 新規

県が責任を持ってがん・小児・周産期医療を提供していくとともに、県央・県北地域の高度急性期医療を担うため、中央病院と子ども病院を統合し、新県立病院を整備します。

**【事業内容】**  
病院の規模や診療機能、そのために必要な施設・機器の整備方針などを明らかにする基本計画の策定  
**<建設用地概要>**  
所在：笠間市小原地区、水戸市三湯町地区周辺



ライフプラン構築を支援

基本計画を策定

高安ひろあき 茨城県議会報告

第29号

2026年4月発行

Takayasu Report for You



発行元/連絡先

高安ひろあき事務所  
〒317-0073 日立市幸町2-13-6  
TEL 0294-26-0183 FAX 0294-26-0186  
E-Mail hiro-t@net1.jway.ne.jp

第1回定例会を開催

日立共創プロジェクトなど 県北地域振興を推進



質問する高安議員

令和8年度第1回定例会は、2月26日から3月24日まで27日間の日程で開催されました。上程された議案等は知事提出議案として、令和8年度一般会計予算、特別会計予算や条例、令和7年度一般会計補正予算や報告など79件の他、議員提出議案として「不登校児童生徒に対する学ぶ権利の保障の確立を求める意見書」などの4件を含めた計83件が上程されました。それぞれ委員会等での慎重審議の結果、全ての議案が可決・承認となりました。令和8年度一般会計予算は、当初予算としては過去最大の予算規模であり、県総合計画で定めた4つのチャレンジや県北振興に取り組むための施策に加え、経済の好循環に向けた物価高対策を取り纏めた予算編成になりました。

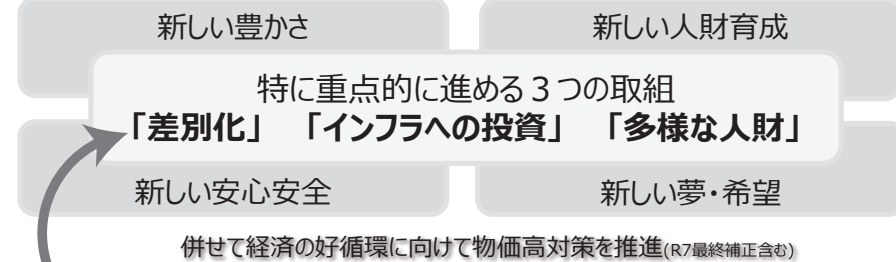
令和8年度一般会計予算

一般会計  
予算額

1兆3,599億2,400万円  
(対前年度比+962億3,000万円 +7.6%)

今回の一般会計予算案の規模は、1兆3,599億2,400万円となりました。給与改定に伴う人件費の増など義務的経費の増加に加え、社会保障関係費の増のほか、教育無償化(高校授業料や小学校給食等の負担軽減)の実施等に伴い一般行政費が増加しており、歳出規模は前年度と比べ、+7.6%となりました。

人口減少時代の「新しい茨城」づくり



「差別化」の項目では、県北地域振興のため、日立共創プロジェクトの推進や「里山資源」を活用したコンテンツ造成等により地域活力を創出することが盛り込まれました(詳しくは3Pをご覧ください)

過去最大の予算を編成  
予算規模、県税ともに

### 救急受入病床確保推進事業 新規

#### 病床の安定確保を図る

中核医療機関における救急受入病床の確保を進めるため、中核医療機関が、転院可能な患者を後方支援医療機関に転院できる体制を構築します。

【施策】

- 1 後方支援医療機関の病床確保 (県が指定する医療機関)
  - ① ベッドコントロールによる転院受入に対する補助  
入院4日以内の患者：3万円/件、入院5日～14日の患者：1万円/件
  - ② 夏場・冬場の救急搬送ピーク時における後方支援病床の確保  
25医療機関に各1床の確保を委託：1.7万円/日
- 2 中核医療機関の転院加速化 (年間搬送受入2千件以上の救急告示医療機関)  
入院14日以内の患者の転院搬送経費への補助：1万円/件

### 茨城空港ターミナルビル拡張検討事業 新規

#### 航空需要の増加に対応

増加する航空需要に対応し、円滑に旅客や航空会社を受け入れられるよう、空港関係者で構成する会議体を設定し、茨城空港ターミナルビルの拡張等について検討を進めます。

【事業内容】

茨城空港将来ビジョンを踏まえ、空港ターミナルビルの機能強化方針を策定

- ・航空会社、グランドハンドリング事業者等の空港関係者による検討会議を設置
- ・航空需要の増加を見据えたターミナルビルの課題、拡張方策を検討
- ・同時に、受け入れ能力向上に寄与する先進機器導入等も検討



### 学校給食負担軽減事業 新規

#### 給食食材費に補助

国が示すいわゆる給食無償化の実現に向け、県内全ての公立小学校等の学校給食に係る食材費の支援を行い、保護者の学校給食費の負担軽減を図ります。

【事業概要】

公立の小学校段階の学校給食に係る食材費を補助

【補助額】

基準額×11か月×給食実施校の在籍児童数

【基準額】

- ・小学校・義務教育学校前期課程 5,200円/月
- ・特別支援学校小学部 6,200円/月

【対象校】

- ・小学校 (422校) 義務教育学校前期課程 (16校)
- ・特別支援学校小学部 (23校)

### クリエイティブ・コンテンツ産業振興事業 新規

#### クリエイターを目指す若者を支援

成長が見込まれるアニメ産業について、若者が学び就業する新たな選択肢を提供できるよう、産官学連携のもと「クリエイターの育成・確保」と「働く場の創出」に挑戦します。

【クリエイターの育成・確保】

- ・教育機関とアニメ制作会社が連携した教育体制の構築
- ・アニメ教育を推進するための教育環境の整備
- ・本県出身クリエイター等の移住促進に向けた調査



【働く場の創出】

- ・アニメ制作会社等の誘致に向けた調査
- ・県内でのアニメ制作会社等の創業・拠点拡大の促進



### カシマサッカースタジアムの在り方調査検討事業

#### 建設に向けた検討を開始

老朽化により、将来的には維持管理費の増大や安全性の確保が困難になることが見込まれることから、鹿島アントラーズとの官民連携による新スタジアムの建設に向けた基本計画を策定します。

【想定スケジュール】

- R8 (2026) 基本計画
- ↓
- R9 (2027) 以降～ 基本設計・実施設計 造成・建設工事
- ↓
- R15 (2033) 完成目標



カシマサッカースタジアム

### 五浦美術館リニューアル事業 新規

#### 日本画展示スペースを拡充

美術館機能を強化し、太平洋の絶景を望む日本画の聖地として、魅力的な施設にリニューアルします。

【事業内容】

- 主なリニューアル内容 (予定)
- ・常設展示室の日本画展示スペース拡充
- ・ショップ・カフェ拡充 等

【スケジュール (予定)】

- 2026年度 実施設計
- 2027～2028年度 工事 (半年程度を想定)



リニューアル後の常設展示室 (イメージ)

### 日立共創プロジェクト推進事業

#### 4,500万円の予算を編成

日立市と日立製作所の協働によるスマートシティの実現に向けた「共創プロジェクト」を推進し、県北地域の振興や地域課題の解決に繋げていくため、スマート産業団地の整備に向けた取組などを支援します。

- 1 スマート産業団地整備における事業計画策定 (20万円)  
DXやGXが実現された持続可能なものづくりの拠点となるスマート産業団地の整備に向けた事業計画策定に対する補助
- 2 AIを活用した生産性向上モデルの実証 (20万円)  
ものづくり中小企業へのAI等を活用したソリューションの導入実証により、中小企業の実産性向上を目指す取組に対する補助
- 3 スマートシティでの未来の暮らしの実現に向けた実証 (30万円)  
先進的な未来の暮らしをデジタル技術を活用して可視化・体験できる場の提供により、社会的受容性や課題を把握する取組に対する補助
- 4 交通需要マネジメント (TDM) 施策の検討、効果予測 (20万円)  
交通流データの可視化・分析、交通渋滞や公共交通課題に対する効果的なTDM施策の検討、シミュレーションによる効果予測に対する補助  
※別途、介護サービス等社会資源情報の一元化・デジタル化の取組を支援

### 県北里山地域活力創出関連事業

#### 魅力あるイベントやコンテンツを検討

県北地域山間部の多様な「里山資源」を活用し、地域一体となった誘客促進や観光消費額の拡大、水郡線の利用促進を図ることで、持続的な地域活力の創出を目指します。

1 県北里山ディスカバリー事業 (110百万円) 新規

- ① 里山資源をパッケージ化した誘客プロモーション
- ② 里山の世界観を活かしたコスプレイベントの開催



※写真はイメージ

- ③ 話題性のある忍者のコンテンツの作成による誘客
- ④ 魅力ある宿泊施設の誘致等

2 水郡線利用促進事業 (17百万円)

- ① 「みんなで考える水郡線ツアーアイデア会議」の開催
- ② 里山周遊に資する水郡線駅舎・二次交通の整備検討【新規】



水郡線



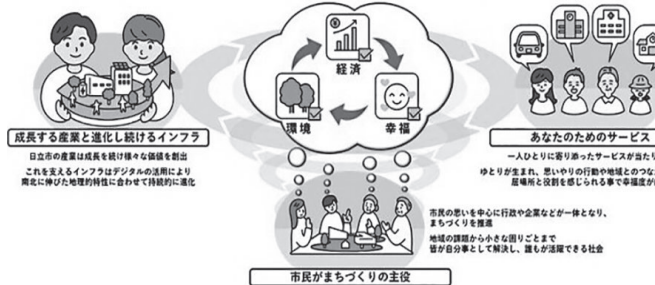
Half Time **ハーフタイム** このコーナーでは、茨城県の取組みについて解説します。

### 日立共創プロジェクトの推進を支援 県北地域の振興や地域課題の解決に繋がっていきます

長期目標 2050年の日立市の未来像

#### デジタルと共に、みんなでひらく豊かな未来

産業が生み出す価値の循環により、一人ひとりの生活がより豊かに  
日立市が産業都市として培ったイノベーションの精神を継ぎ、  
環境/幸福/経済成長が図れる、一人ひとりが生活の持続可能な未来をめざします



県北地域の社会課題を解決するためには、皆さんの思いを中心に行政や企業などが一体となりまちづくりを進める必要があります。地域の課題から小さな困りごとまで、皆さんのご意見をお聞かせください!

